

オプトマ超短焦点プロジェクター用壁付金具 0WM2000 組立設置説明書

お客様へ

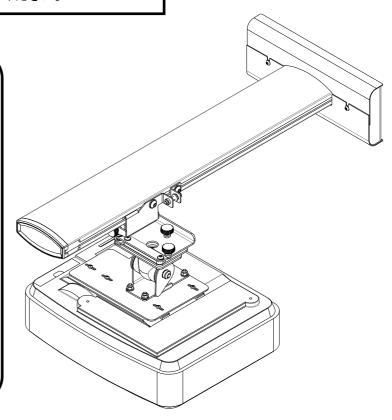
このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして 誠にありがとうございます。 本金具の取り付けには専門の技術が必要となりますので、 販売店や施工業者に依頼してください。

施工業者様へ

お客様の安全のため取り付け場所の強度は、本金具とプロジェクターの 荷重に耐えられるよう十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。 取り付け場所の構造や強度は、設置環境により異なりますので、 施工業者様が調査の上、最適な取り付け方法を選択し施工を行ってください。

●工事を請け負われた施工業者のかたは設置完了後、組立設置説明書(本書)を お客様へお渡し頂き、安全上の注意の説明を実施してください。

もくじ



ご使用の前に、この組立設置説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この組立設置説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください。

安全のために、必ずお守りください。

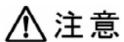
本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、 必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で 区分し、説明しています。

<u>^</u>

警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を 示しています。



この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能 性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の 一例です。)



必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



してはいけない「禁止」内容を示しています。

⚠ 警告



定期的に点検を依頼する

販売店または施工業者にご相談ください。 搭載プロジェクターの変形、ボルト等が緩んでいる可能性、もしくは 壁等の亀裂、腐食、等が考えられ、その状態のまま使用すると搭載プロジェクターが 落下する恐れがあります。



工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事をしない

工事の不備により、本金具が落下してけがの原因となります。



プロジェクターや本金具にぶらさがったり、ゆすったりしない

本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



物を掛けない、プロジェクター以外搭載しない

本金具または塔載物が落下する恐れがあります。

⚠ 警告

0

設置作業は必ず二人以上の作業者で行う

本金具の破損、及びプロジェクターの破損を招く恐れがあります。 また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

0

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

設置をする壁面は、本金具とプロジェクターの荷重に十分耐えうる強度を確保してください。強度が 不足している場合は補強工事をおこなってください。取付ボルトを締め付ける際は、電動工具による 締め付けはおこなわないでください。本金具が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐 れがあり大変危険です。

0

設置後の方向、傾斜の調整で各調整ねじを緩め過ぎないようにし、

調整ねじが抜けない範囲で各調整を行う

調整ねじが抜けてしまうと、本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。

0

塔載するプロジェクターは必ず所定取付位置に設定する

所定取付位置以外で設定すると、本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



対応機種以外のプロジェクターを搭載しない

本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。

⚠ 注意



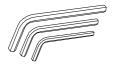
プロジェクター設置にあたっては、プロジェクターの説明書と異なった設置条件での 取り付けはしない

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

付属品



プロジェクター取付用ねじ ×5 (M4×10)



六角レンチ呼び3、呼び4、呼び5 ×各1



樹脂カバー ×1



ケーブルカバー ×1



組立設置説明書 ×1 (本書)

壁面取付用のねじは付属しておりません。 別途準備ねがいます。

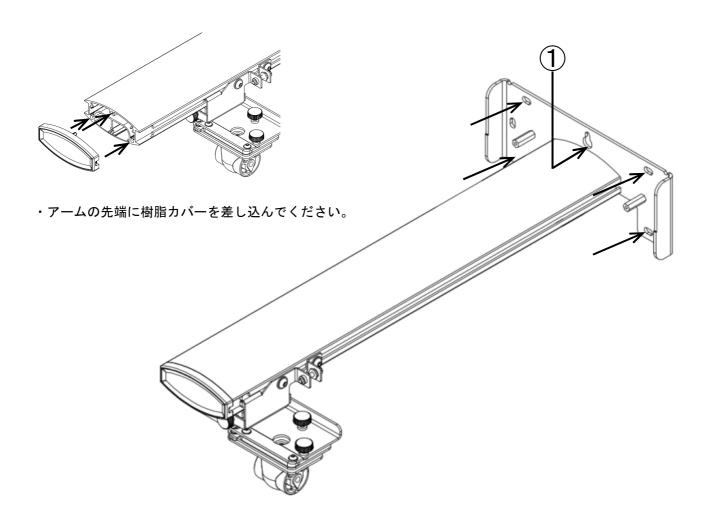
ステップ1:壁付金具の壁面への取り付け

本セット内容の部品には取付箇所、取付方向が決まっていますので、組立設置説明書(本書)をよく確認の上、組み立ててください。

組立作業にはあらかじめプラスドライバー、スパナ等工具をご用意ください。

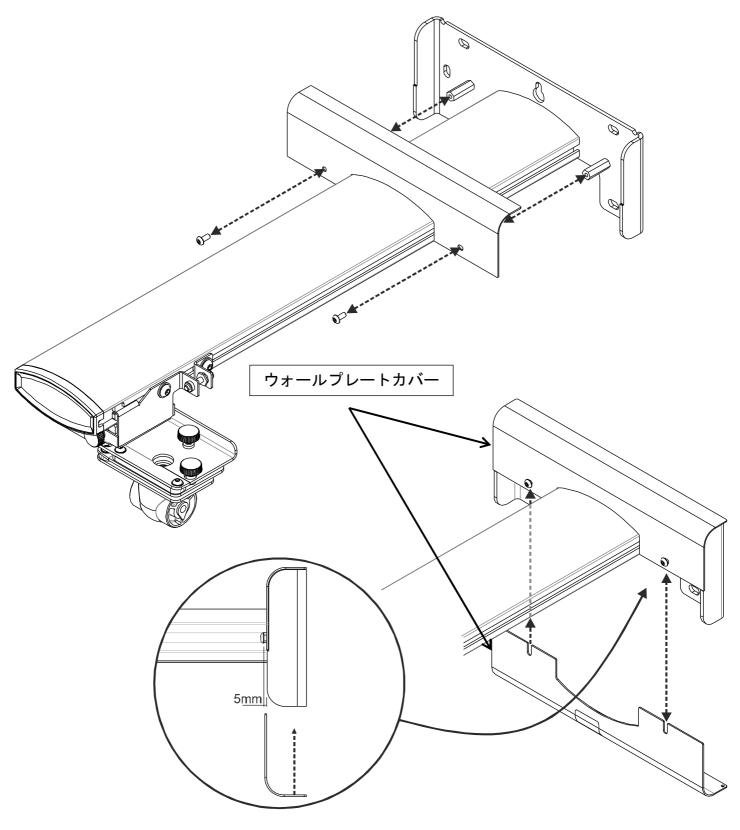
⚠警告

- ・設置をする壁面は、本金具とプロジェクターを支える十分な強度が必要です。設置前に本金具と プロジェクターの合計質量をご確認ください。強度が不足している場合は補強工事を行ってください。
- ・M8 のナット・ワッシャー・ボルト(おねじ形アンカーボルト)を使用してください。M8 より小さいナット・ワッシャー・ボルトを使用すると本金具が落下する恐れがあります。
- ・本金具には壁面への取り付けのためのねじ類は付属しておりません。 別途準備願います。
- ・取付場所の構造や強度は、設置毎で異なりますので、施工業者様が調査の上、最適な取付方法を選択し 施行を行ってください。



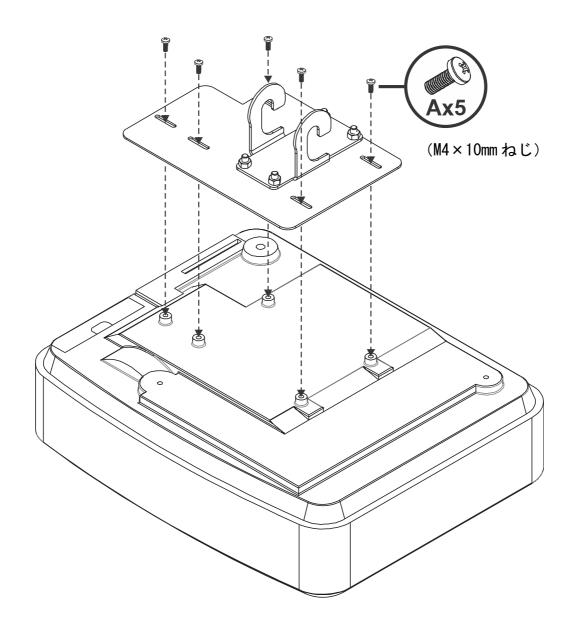
- ・取付を簡単にする為に①のだるま穴で壁面にブラケットを取り付け、水準器で水平を取り、 他のねじ止め位置をマーキングしてください。
- ・ブラケットを取り除き、マーキングした位置に下穴を開けてください。
- ・取付穴は矢印で指定している5箇所を使用して壁面の構造、材質に適した取付部材で取り付けてください。

ステップ1:壁付金具の壁面への取り付け



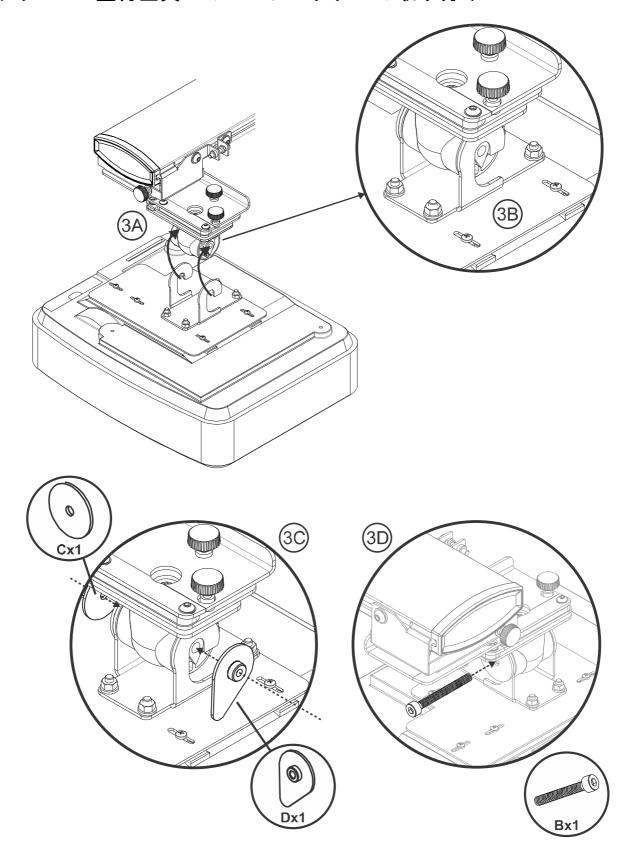
・壁面への取付前にウォールプレートカバーを外しておいてください。 取付ねじ(2箇所)を緩め、図のようにスライドさせて取り外してください。 ※ウォールプレートカバーを取り付けるときは下のカバーがずれ落ちないように、 取付ねじをしっかりと締めつけてください。

ステップ2:プロジェクター取付金具へのプロジェクターの取り付け



- ・プロジェクターが傷付かないようにカートンケース、毛布等の平らなクッション材の上に置いて作業してください。
- ・プロジェクター取付金具をプロジェクターの取付ねじ穴にあわせてください。
- ・付属品のプロジェクター取付用ねじ(A)を5個使用して、プロジェクターを取り付けてください。

ステップ3:壁付金具へのプロジェクターの取り付け

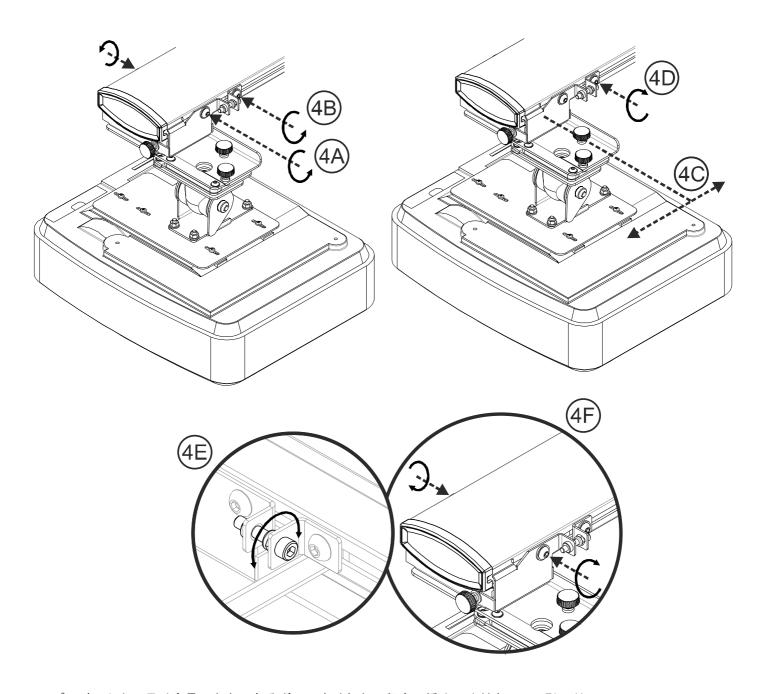


- ・3A、3Bのイラストのようにプロジェクターを持ち上げてください。 Fig 3A,3B
- ・ワッシャー(C)と涙形のロッキングワッシャー(D)をフック部にあてがい、M8x75mmのボルト(B)を差し、付属の六角レンチを使って締めてください。 Fig 3C,3D (これらは組まれた状態で出荷されています。)

7

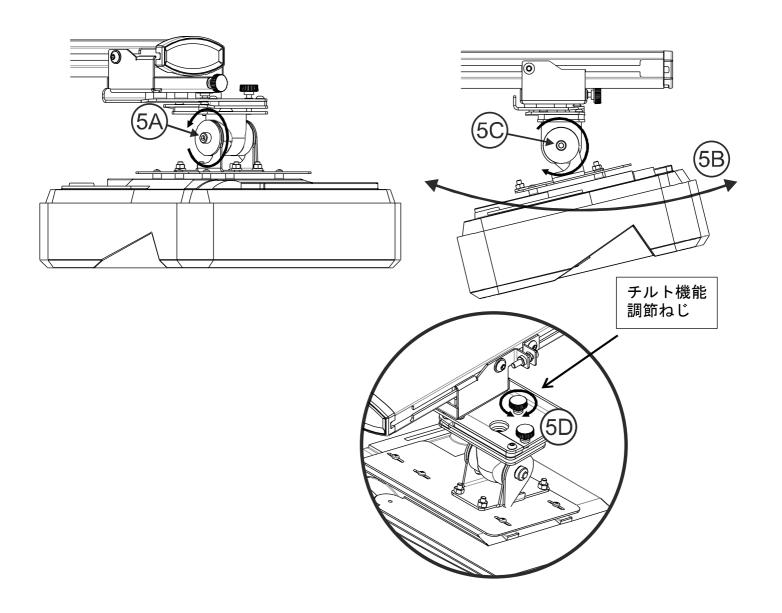
OWM216330(I)

ステップ4: 投写距離の調節



- ・プロジェクター吊り金具の左右にあるボルトを外れない程度に緩めてください。- Fig 4A
- ・微調整用アジャスターのボルトを外れない程度に緩めてください。- Fig 4B
- ・投写イメージが、お好みのサイズになるまで吊り金具と投写距離微調整用アジャスターをスライドさせてください。- Fig 40
- ・投写距離微調整用アジャスター上の固定用ボルトを締めてください。 Fig 4D
- ・4Eのイラストにあるボルトを回して投写距離を微調整してください。 Fig 4E
 - ■投写イメージサイズを小さくするには、4Eのイラストにあるボルトを時計回りに締めてください。
- ■投写イメージサイズを大きくするには、4Eのイラストにあるボルトを反時計まわりに緩めてください。
- ・微調整が終わったら、吊り金具を固定する為のボルトを締めてください。 Fig 4F

ステップ5:上下方向の傾きの調節

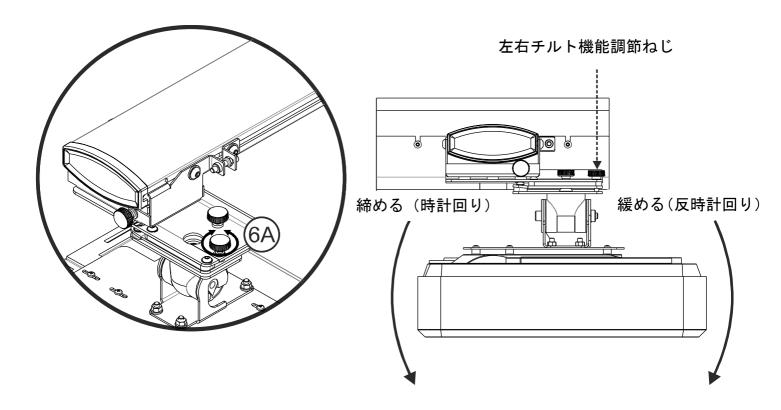


5A イラストのボルトを緩めてください。 - Fig 5A

- ・必要な角度にプロジェクターを調節してください。 Fig 5B
- ・プロジェクターの角度をロックする為にボルトを締めてください。 Fig 5C
- ・チルト角度の微調整の為に 5D のイラストの上下チルト機能調整ねじを調節してください。 Fig 5D
 - ■投写角度を小さくするには、時計回りに回してねじを締めてください。
 - ■投写角度を大きくするには、反時計回りに回してねじを緩めてください。

注記:上下チルト機能調整ねじは緩めすぎると抜けてしまいますので、 必要以上に緩めすぎないで下さい。

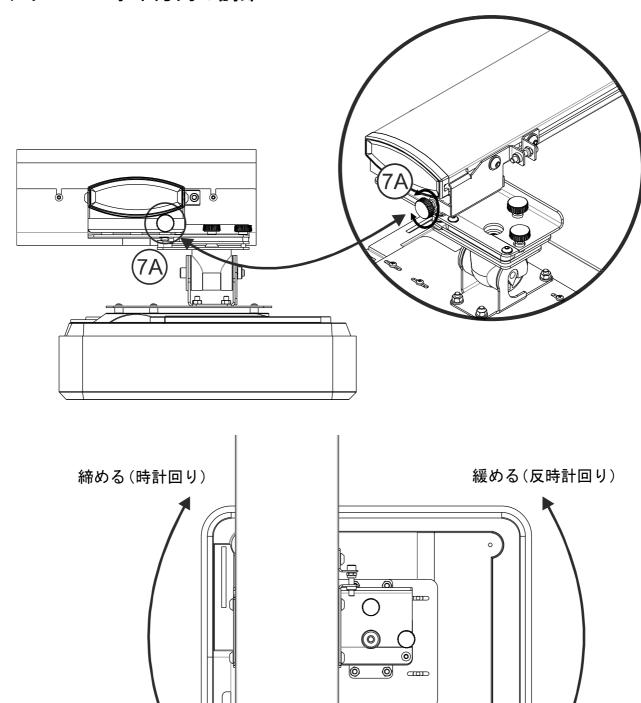
ステップ6:左右方向の傾きの調節



- ・左右方向の傾きを微調整するには、6A イラストの左右チルト機能調整ねじを回して調節してください。- Fig 6A
 - ■プロジェクターの左側を下げるには、時計回りに回してネジを締めてください。
 - ■プロジェクターの右側を下げるには、反時計回りに回してネジを緩めてください。

注記:左右チルト機能調整ねじは緩めすぎると抜けてしまいますので、 必要以上に緩めすぎないで下さい。

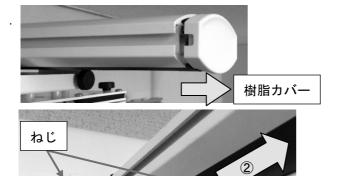
ステップ7:水平方向の調節



- ・プロジェクターを手で回して必要な角度に合わせてください。
- ・投写方向を微調整するには 7A イラストのねじを回して調節してください。 Fig 7A
 - ■プロジェクターの左側をスクリーンに近づけるには、時計回りに回してねじを締めてください。
 - ■プロジェクターの右側をスクリーンに近づけるには、反時計回りに回してねじを緩めてください。

ステップ8:ケーブルの収納

ケーブルを金具の溝に収納することが出来ます。



1

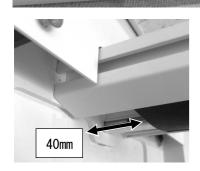
樹脂カバーをアーム先端から取り外してください。

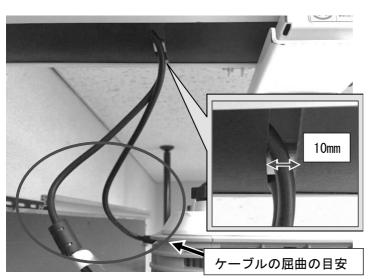
ねじを緩め、ウォールプレートカバー (下) を矢印①の 向きにずらして取り外してください。

ケーブルカバーを矢印②の向きにスライドさせ、 壁面から 40mm 離れた位置に合わせてください。

ケーブルカバー

ウォールプレートカバー(下)





ケーブルカバーのプロジェクター側をケーブルの屈曲が 図のようになるように切断してください。

ケーブルを金具の溝の収め、切断したケーブルカバーを アームにはめ込んでください。

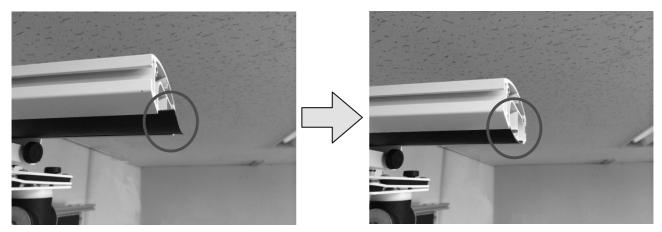
切断した残りのケーブルカバーを、10mm 隙間が出来るようにアームの先端から差し込みます。

※ケーブルに無理な負荷が掛らないよう、隙間の位置を決めてください。

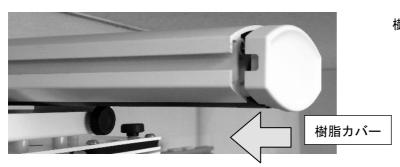




ケーブルカバーをはめ込んでください

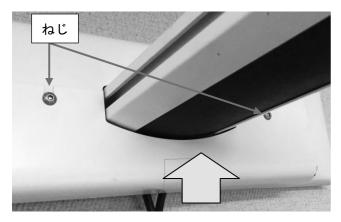


アームの先端に合わせてケーブルカバーを切断してください。



樹脂カバーをアーム先端に取り付けます。

※アームと樹脂カバーに隙間がない様 取り付けてください。



ウォールプレートカバー (下) を矢印の向きに差し入れ、 ねじを締めて取り付けます。

※固定ねじ(2 箇所)はカバーの脱落がない様、 しっかりと締め込んでください。

ケーブルを噛み込まないように十分注意してください

<ウォールプレートカバー(下)について>

ウォールプレートカバー(下)は壁面側のケーブル処理に応じて、以下の2通りの取付が可能です。



ウォールプレートカバー(下)の下部を手で切り離します。

※見やすいように上下逆にしています。



切り欠き部よりケーブルを通します。

②ケーブルを壁面内に引き込む場合



壁面内へケーブルを引き込み、 ウォールプレートカバー (下)を取り付けます。



OWM216330(I)

メモ

保証書

品名 オプトマ超短焦点プロジェクター用壁付金具

お客様名: お取扱店:

ご購入年月日: 住所/TEL:

保証期間

本体

1ヵ年

ご購入の日より

- 1. 保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
- (1)この保証書のご提示がない場合。
- (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
- (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- (4)お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
- (5) 火災や天災等による故障および損傷。

- 2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。
- 本書にご購入年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が 記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は 直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。
 - ※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などに ついてご不明の場合は、 取扱店または下記コンタクトセンターにお問い合わせください。

株式会社オーエス

コンタクトセンター

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18 TEL: 0120-380-495 FAX: 0120-380-496 (受付時間: 平日9:00~18:00 ※土日祝日を除く)

E-mail: info@os-worldwide.com

※フリーダイヤルに接続できないお客様は、

ご面倒ですが下記電話番号までお掛けください

TEL: 03-3629-5211 FAX: 03-3629-5214

株式会社オーエスプラス

コンタクトセンター

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18 TEL: 0120-212-750 FAX: 0120-380-496 (受付時間: 平日9:00~18:00 ※土日祝日を除く) E-mail: e. info@os-worldwide.com

※フリーダイヤルに接続できないお客様は、 ご面倒ですが下記電話番号までお掛けください

TEL: 03-3629-5211 FAX: 03-3629-5214